

2018(平成30)年5月  
 新座市精神障害者家族会・やすらぎの会  
 〒352-0023 新座市堀ノ内3-4-11  
 No.213 社会福祉法人にいざ  
 電話 048-482-5155

5月13日(日)

野火止1丁目集会所 出席会員19名+1名

5月例会では

例会が始まる前までは降らずに待っていてくれた雨も、そのうち本降りになってきました。いつもの「傾聴の時間」に続いての話し合いでは、福祉フェスティバルの役割などを相談しました。買い出し、前日の準備、当日のこと、それぞれ皆さんに出来ることを申し出ていただき、役割分担が決まりました。あとは当日の天気の良いことを祈るばかりです。

今回もグループホームのことが話題にあがりました。グループホームは家族の永年の悲願です。いろいろなところから情報を集め、一日でも早く実現するよう法人にいざとも連携しながら進めていきたいと思えます。

次回6月例会では、こんぼ亭のDVD「こんなときはどうするの？回復力を高める関わり方の基本」(高森信子さん)を鑑賞し、高森さんの具体的でシンプル、しかも効果が高いといわれているノウハウをご一緒に学びましょう。

第19回定期総会のご報告

4月28日(土)法人にいざ後援会の定期総会に続き、やすらぎの会の定期総会が開催されました。出席者数は28名、委任状8名(会員総数45名)でした。

議長には飯塚さんが選出され、第1号議案から第6号議案まで審議され、全ての議案が承認・可決されました。

また昼食をはさみ、午後からのやすらぎの会主催の研修会には、家族会員のほか後援会会員、施設職員、議員さんなど48名の方が参加され、「1人ひとりの思いを大切に～訪問看護ステーションKAZOCの取り組み～」というテーマで三ツ井直子さんと糸山直恵さんから、分かりやすくお話していただきました。

アンケートでは「新座にも『KAZOC』のようなところがほしい」などの意見もありました。講師のお二方ありがとうございました。

【今後の予定】

- 5/23 (水) 日帰りバス研修 9:00~16:30 (立川昭和記念公園)
- 5/23 (水) 福祉フェスティバル実行委員会15:00~16:00 (市民会館会議室)
- 5/25 (金) 埼家連定期総会 10:30~16:00 (県交流センター)
- 6/01 (金) 家族相談 13:00~16:00 (支援センター相談室)
- 6/02 (土) 埼家連Bグロック会議 13:30~16:00 (ウエスタ川越第5会議室)
- 6/03 (日) 第25回新座市福祉フェスティバル 10:00~15:00 (福祉の里)
- 6/06 (水) 法人にいざ後援会役員会10:00~12:00 (堀ノ内集会所)
- 6/07 (木) 法人にいざ理事会 10:00~12:00 (支援センター)
- 6/08 (金) 6月例会(役員会12:30~) 14:00~16:00 (中央公民館)
- 6/14 (木) 法人にいざ広報委員会 10:00~12:00 (支援センター)
- 6/20 (水) 法人にいざ後援会役員研修 (調布クッキングハウス会)

### 6月例会のお知らせ

日時: 6月8日(金) 14:00~16:00  
 場所: 中央公民館 2階 視聴覚室  
 内容: 高森信子さん 講演のDVDを鑑賞して  
 話し合しましょう

役員会 12:30~

家族相談日

毎月第1金曜日 13:00~16:00

相談は15:30までにおいで下さい

6月1日(金)です 場所:にいざ生活支援センター相談室

# 予約される場合は鶉飼(080-1053-7816)まで

例会に出席できない方、ゆっくりお話したい方もお出かけ下さい。

当番の家族相談員がお待ちしています。6月の当番(佐藤・矢野)

※ 埼家連の「心をつなぐ家族電話相談」もご利用ください

☎ 080-6685-2128(携帯)

相談日 毎週 月~木(金、土、日、祝日 は休み)

10:00~12:00 13:00~15:00



## 精神治療に対話の力……患者×医師×家族 ……東京新聞より(5/8)

4月28日の定期総会後の研修会でも話題になったオープンダイアログについて東京新聞の記事が載っていました。5月例会で紹介しましたが、再度ここに載せます。

フィンランド発祥の精神科の治療法「オープンダイアログ」が世界的な注目を集めている。幻覚や妄想の症状がある統合失調症などの患者が、家族、医師、看護師らとともに対話を重ねることで回復がもたらされる。薬物治療中心の従来の「常識」を覆す手法だ。日本でも対話のガイドラインが作られ、医療現場での実践が始まっている。

### オープンダイアログ

「開かれた対話」と訳されるオープンダイアログは、1980年代にフィンランドのケプロダス病院で生まれた。主に発症初期の統合失調症が治療対象。患者側の依頼から24時間以内に医師、看護師ら専門家チームが患者や家族とミーティングを開き、症状が改善するまで毎日のように対話する。

この手法の導入で、同国の西ラップランド地方では統合失調症患者の入院治療期間や、服薬を必要とした患者の割合が通常の治療と比べ大幅に減少。予後の2年間の調査でも、再発率は24%（通常治療71%）に抑えられたという。

「患者本人抜きではいかなる決定もしないというのが最も重要なルールの一つです」。「オープンダイアログとは何か」（医学書院）の著書で精神科医・筑波大教授の斎藤環さんは言う。

「専門家が指示し、患者が従う」といった上下関係はなく、皆が対等に発言。幻覚や妄想も詳しく語ってもらい、質問を重ねる。専門家同士が患者について話し合い、本人や家族らが観察する「リフレクティング」という技法も取り込む。

日本での普及に努める「オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン」は昨年、実践向けのトレーニングコースを開催した。専門誌の特集も続き、今春には「対話実践のガイドライン」をホームページで公開した。

日本での導入には課題も多い。薬物治療や長期入院を中心とする従来の治療システムと対立し、保険も適用外。即時対応や継続的な態勢づくりも困難が予想される。

ネットワークの運営委員で「みどりの杜クリニック」（東京都）の精神保健福祉士の村井美和子さんは「まずできるところから始めたい」。すでに患者と両親、治療チーム3人の対話を緩やかなペースで続けるケースなどで効果が出ているという。「オープンダイアログのような対話が当たり前になれば、現代のさまざまな生きづらさが軽減されるのではないか」（以下略）



### 本の紹介

5月例会の中でYさんから紹介されました。

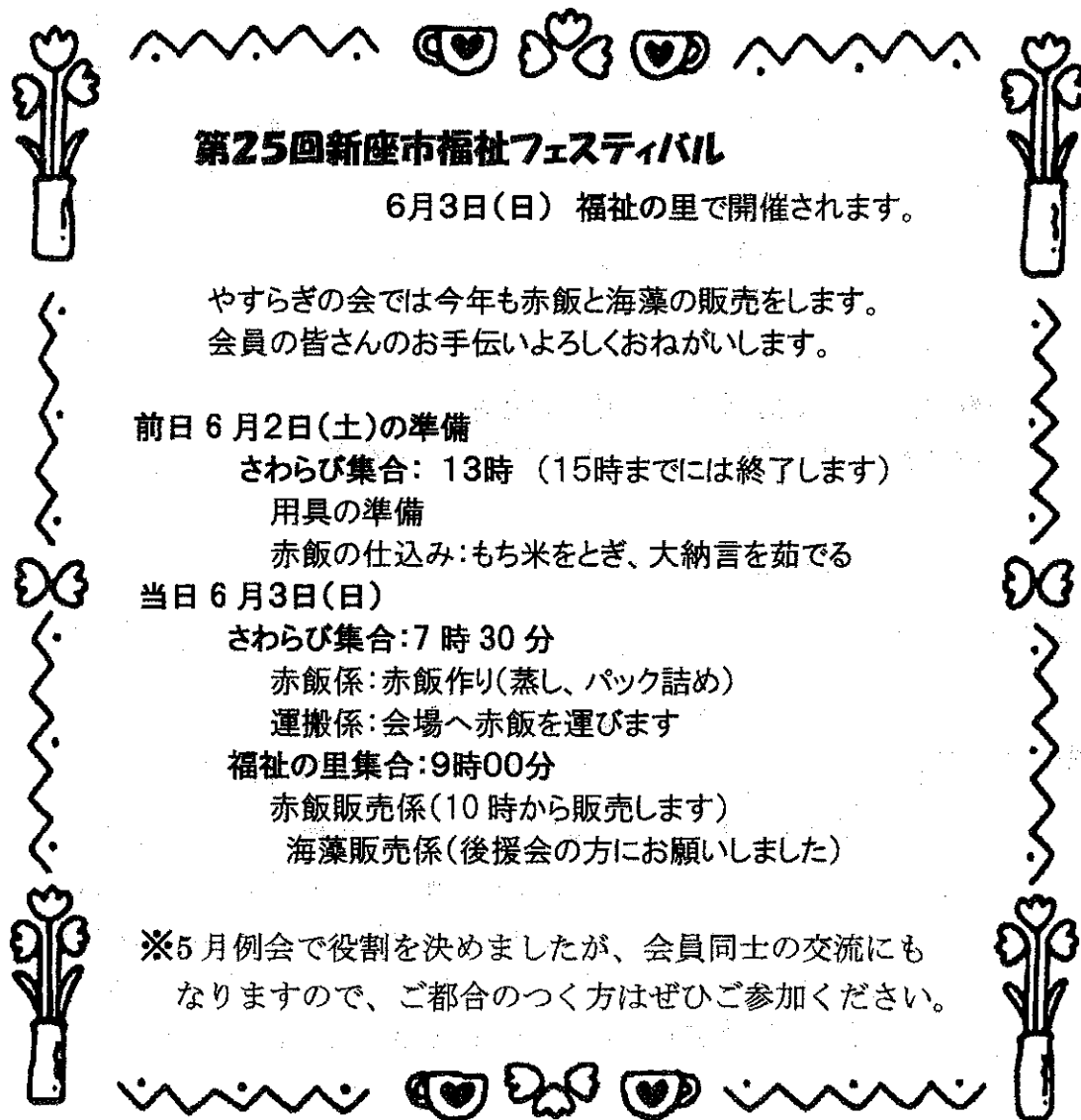
## 「病気じゃないからほっといて

## そんな人に治療を受け入れてもらうための新技法 LEAP」

（星和書店）2,400円＋税

LEAPのLは傾聴、Eは共感、Aは一致、Pは協力関係のこと。

まず受け止めて共感する。役に立ちそうな本ですね。



### 第25回新座市福祉フェスティバル

6月3日(日) 福祉の里で開催されます。

やすらぎの会では今年も赤飯と海藻の販売をします。  
会員の皆様のお手伝いよろしくおねがいします。

前日 6月2日(土)の準備  
さわらび集合: 13時 (15時までには終了します)  
用具の準備  
赤飯の仕込み: もち米をとぎ、大納言を茹でる

当日 6月3日(日)  
さわらび集合: 7時30分  
赤飯係: 赤飯作り(蒸し、パック詰め)  
運搬係: 会場へ赤飯を運びます  
福祉の里集合: 9時00分  
赤飯販売係(10時から販売します)  
海藻販売係(後援会の方にお問い合わせ)

※5月例会で役割を決めましたが、会員同士の交流にもなりますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。